

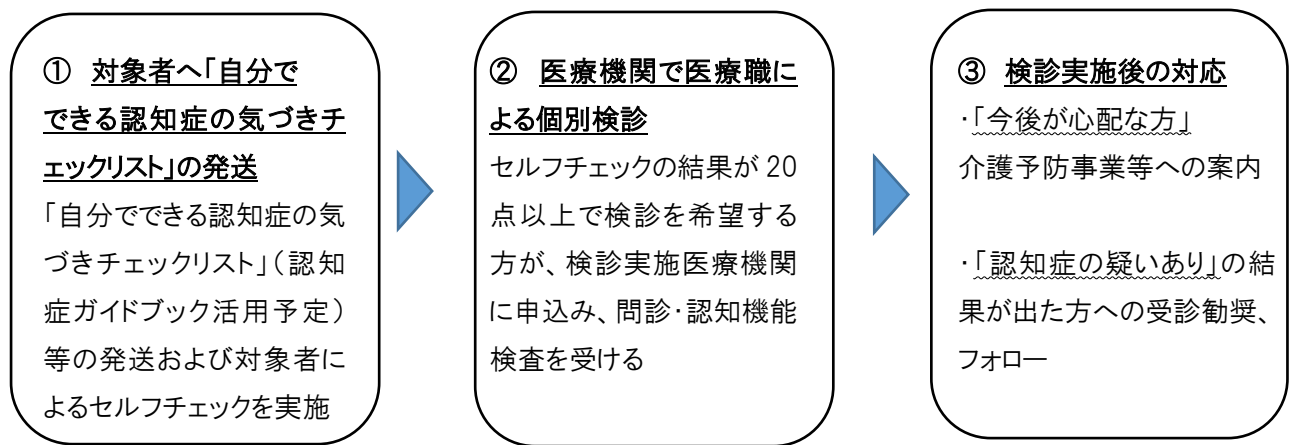
## 第 8 期関連事業概要について

## (仮称)もの忘れ検診の実施について(案)

## 1 (仮称)もの忘れ検診の目的

もの忘れの症状が軽度のうちに認知症を早期に発見・早期診断することにより、適切な治療や進行予防の取組みにつなげ、住みなれた地域での生活を維持する。

## 2 事業内容



## 3 対象者

(1)70 歳・75 歳の区民のうち、認知症の診断がない方で、「自分でできる認知症の気づきチェックリスト」の結果が 20 点以上で検診を希望する方。

※チェックリストの点数に関わらず検診を希望する方も受診可能とする。

(2)検診の受診対象者見込み数

## 4 検診受診前、受診後の支援

検診対象者を受診につなげられるよう地域包括支援センターで相談・支援を実施。また、受診後の状況に応じて介護予防事業への案内や専門医療機関への受診勧奨を実施。

# 自分でできる 認知症の気づきチェックリスト



をやってみましょう

最もあてはまるところに○をつけてください。

<b>チェック ①</b> 財布や鍵など、物を置いた場所がわからなくなることがありますか	まったくない 1点	ときどきある 2点	頻繁にある 3点	いつもそうだ 4点
<b>チェック ②</b> 5分前に聞いた話を思い出せないことがありますか	まったくない 1点	ときどきある 2点	頻繁にある 3点	いつもそうだ 4点
<b>チェック ③</b> 周りの人から「いつも同じ事を聞く」などのもの忘れがあるとされますか	まったくない 1点	ときどきある 2点	頻繁にある 3点	いつもそうだ 4点
<b>チェック ④</b> 今日が何月何日かわからないときがありますか	まったくない 1点	ときどきある 2点	頻繁にある 3点	いつもそうだ 4点
<b>チェック ⑤</b> 言おうとしている言葉が、すぐに出てこないことがありますか	まったくない 1点	ときどきある 2点	頻繁にある 3点	いつもそうだ 4点
<b>チェック ⑥</b> 貯金の出し入れや、家賃や公共料金の支払いは一人でできますか	問題なくできる 1点	だいたいできる 2点	あまりできない 3点	できない 4点
<b>チェック ⑦</b> 一人で買い物に行けますか	問題なくできる 1点	だいたいできる 2点	あまりできない 3点	できない 4点
<b>チェック ⑧</b> バスや電車、自家用車などを使って一人で外出できますか	問題なくできる 1点	だいたいできる 2点	あまりできない 3点	できない 4点
<b>チェック ⑨</b> 自分で掃除機やほうきを使って掃除ができますか	問題なくできる 1点	だいたいできる 2点	あまりできない 3点	できない 4点
<b>チェック ⑩</b> 電話番号を調べて、電話をかけることができますか	問題なくできる 1点	だいたいできる 2点	あまりできない 3点	できない 4点

チェックしたら、①から⑩の合計を計算 ▶ 合計点  点

20点以上の場合は、認知機能や社会生活に支障が出ている可能性があります。お近くの医療機関や相談機関に相談してみましょう。

※このチェックリストの結果はあくまでもおおよその目安で医学的診断に代わるものではありません。

※身体機能が低下している場合は点数が高くなる可能性があります。

このチェックシートは、平成26年8月東京都発行「知って安心認知症」をもとに作成したものです。

## 第 8 期関連新規事業概要について

### 認知症本人および介護家族支援の強化・再編について(案)

国の認知症大綱において、認知症本人および家族を支援の中心とした取り組みが求められており、区においても、個別のケースに沿ったより詳しい情報提供や、地域において生き生きと暮らせる取り組み、身近な場所で介護者が支援を受けられる場の必要性が高まっている。

認知症高齢者本人の生きがいや希望の実現、介護家族の不安やストレスの軽減のため、事業の再編を行う。

#### 記

##### (事業1) 認知症本人および家族への支援

本人および家族の生きがいや希望の実現をサポートする人材育成に取り組む。認知症サポーター養成講座は、引き続き開催するとともに N-impro を活用した学習会も実施し、認知症サポーターを地域での活動参加につなげる(チームオレンジ活動)。なお、認知症サポーター・ステップアップ講座については、高齢者支え合いサポーター育成研修の中で実施していく。

##### (事業2) 介護家族への支援

介護家族への支援は、和やかな雰囲気の中で学習できるサロン形態とし、不安やストレスを抱える介護者へのピアサポートを強化する。現在実施している家族介護教室、認知症地域生活講座をより身近な(仮)介護家族サロンに再編する。

##### (事業3) 認知症の医学知識の普及

認知症について幅広い知識の普及を図るため、専門病院と連携をするとともに、身近な地域での学習の機会を設ける。医師が話す認知症基礎講座については、(仮)介護家族サロンの中で実施していく。

## 第 8 期関連新規事業概要について

### 練馬区版チームオレンジの整備について(案)

#### 1 事業の背景

- 区内の認知症サポーター養成講座受講数は、延べ30,000人超。(R元年度末実績)
- 国の認知症施策推進大綱において、**認知症のご本人からの発信支援、認知症を地域で支える体制の強化**が謳われている。そのうち、認知症サポーター等が支援チームを作り、認知症の人やその家族の支援ニーズに合った具体的な支援につなげる仕組み(チームオレンジ)を地域ごとに構築する、とされている。
- 一部のサポーターは、区内地域でのボランティアとしてすでに活動しているが、**ご本人のニーズと地域のサポーターを中心とした支援をつなぐ場や活動**が求められている。

#### 2 練馬区版チームオレンジの概要

##### (1)実施内容

認知症の本人やその家族の支援ニーズをききとり、具体的な支援につなげる仕組み・ご本人とともに行う実際の活動

- ① ご本人が通える場の定期的な開催(街かどケアカフェなどの活用)
- ② 本人ミーティングの開催(ご本人の希望やニーズ、ご家族が希望する支援の把握)
- ③ ご本人と(仮)オレンジパートナー等の活動サポート

【具体的な活動例】※ミーティング等ででてきた意見を活動につなげていく。

街かどケアカフェでの体操教室(当日の準備運営手伝いなど)、  
趣味(小物づくり)の会の実施、外出の際の付き添い など

##### (2)活動場所

街かどケアカフェ(出張型含む)、区立施設内、介護事業所内、各運営団体の活動場所(オレンジカフェ)など